

令和 3年 1月21日

入居者及び身元引受人等の皆様へ

サンリッチ伊東
施設長 黒柳 達也

入居者運営懇談会の書面報告について

現在、新型コロナウイルス感染症の流行が続いており、終息の目途がたっておりません。新型コロナウイルスのクラスター（集団）発生リスク回避には、近距離での会議や会話及び人ごみを避けることが有効と言われておりますので、今回はご案内のとおり書面報告をさせていただくことになりました。ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症予防対策として、玄関には手洗い所やAI搭載のサーマルカメラ（体温自動計測）などを設置、そしてオゾン生成器の導入や感染予防の消耗品の在庫も十分確保しました。

現在のところ、新型コロナウイルスの感染事例はありませんが、このウイルスが終息するまでは継続して予防対策を講じていきたいと思っております。

万一、新型コロナウイルスの感染が**当施設で発生**した場合には、**軽症の感染者（入居者の方）を14日間程度隔離**することになったり、**多くの職員を14日間程度休ませることになったり、日々のサービス提供の維持ができなくなります。何よりも外出を避けることが一番の予防**になります。ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「報告事項」

① 前払金（一時金）返還債務の保全状況について

この報告は、下記説明のとおりです。

- 当施設は公益社団法人全国有料老人ホーム協会の入居者生活保証制度に加入しておりますので、前払金（一時金）返還債務の保全については、この制度を利用いたします。この制度は、前払金の返還債務保証（返還される前払金残高の保証で上限500万円まで）や破産等により全員退去となった場合には、上限100万円までが保証（前払金の残高が100万円未満のときには、前払金の保証と合算で100万円までを保証）されます。

② 介護職員配置体制・勤務形態などについて

この報告は、(P2～5)のとおりになります。

- 職員の体制については、法的な人員配置基準を遵守しています。

③ 1年間の運営報告について

この報告は、(P6～8)のとおりになります。

④ 決算報告について

この報告は、(P9～11) のとおりになります。

- ・令和2年7月豪雨の災害義援金を行いました。
- ・入居者のご家族様より寄付金をいただき、玄関のAIサーマルカメラ設置費用に充当させていただきました。
- ・温泉浴場の管理を自動化にしました。
- ・部門別収支報告書の収支差は赤字になっています。この部門別収支の赤字部分を前払金収入の家賃相当分から充当しています。事業全体で収益を確保して不足している部門を支えています。事業全体で利益を確保していますので、運営上支障を来たすことはありません。

特に食費の赤字については値上げしかありませんが、今のところ値上げをして入居者皆様にご負担をしていただくことは考えておりません。常に事業全体で利益を確保することだと考えております。

⑤ 入居者数及び介護者数及び入居期間の状況について

この報告は、(P12) のとおりになります。

- ・85歳以上の入居者の方が多くなっています。

⑥ その他

(A) 看護・介護記録の電子化

- ・看護や介護記録などの電子化を行いました。

(B) 新型コロナウイルス感染症予防対策について

- ・玄関には手洗い所やAI搭載のサーマルカメラ（体温自動計測）などを設置
- ・オゾン生成器を導入しました。

以上の書面報告について、ご意見やご質問をお気軽にお寄せくださいますようお願いいたします。